

科目名	室内計画				
授業形態	講義	学年	1		
開講時期	2022年度 前期	単位数	2		
担当教員	柴崎 恭秀				
内容および計画	<p>人間の快適で安全な生活を保証する容器が「室内」である。その室内を計画するに当たっては、まず、生活者である人間を理解し、つぎに、その容器としての空間（建築によって造りだされた内部空間）が備えていなければならない機能、そして、その空間を構成している各種の要素の理解を深める。</p> <p>「人間」については成人健常者のみでなく、高齢者、身障者等種々の状態があることも理解し、それに対応する空間や装備の在り方についても理解を広げる。</p> <p>「空間」については、住空間（住居建築）を主な対象とし、その構成要素、環境要素について理解を深め、更に身近な生活空間が地球環境まで連続していることを学習していく。</p>				
1	「室内計画」の意味				
2	建築とインテリアの役割				
3	外部空間と内部空間				
4	生活空間と人間・人体・物の寸法				
5	空間の寸法・広さ				
6	生活空間と人間・動作・行為と空間				
7	住まいと間取り				
8	空間の形・空間の構成要素				
9	空間の形・空間の機能				
10	材料と色				
11	家具・装備				
12	環境要素空気・光				
13	環境要素音・熱				
14	地球環境と生活空間				
15	環境共生エコロジーと住空間				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	世界で一番美しい建築デザインの教科書	鈴木敏彦・松下希和・中山繁信	エクスナレッジムック	4767812399	2011
参考書	<p>1) インテリア産業協会教育図書開発編集委員会出版『暮らしとインテリア』産能大出版部</p> <p>2) 小原二郎他編 『インテリアの計画と設計』 彰国社</p> <p>3) 加藤力著 『インテリアコーディネーターの人間工学』 ハウジングエージェンシー</p>				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	レポート・課題				60
	授業態度				20
	出席状況				20

学習到達目標	生活の豊かさの根源としての住居建築を主な対象とし、その構成要素、環境要素について理解を深め建築・インテリア計画の概要を理解する。
先修条件	
実務経験	実務経験あり:大手設計事務所にて勤務後、設計事務所を設立。キャンパス計画や集合住宅、住宅等のインテリア・建築デザインに15年以上従事してきた。一級建築士として20年以上の経験を有す。この経験をもとに、インテリアデザイン、建築デザインの基礎、応用について教授する。
その他	